

建設技術展 2016 近畿 出展報告

日 時：平成28年10月26日（水）～27日（木）

場 所：マイドームおおさか

➤ 建設技術展 2016 近畿 開催結果（全体）

- ・ 出展者数：171（210 ブース）
- ・ 来場者数：15,106 人（26 日：10,057 人、27 日：5,049 人）

➤ 来場者数

- ・ 出展ブースへの来場者は、2 日間で 50 名くらい。初日（26 日）が多く、2 日目はどのブースも人が少なかった。

➤ 主な質問内容

- ・ レンタルや販売は行っているのか？
→ 機器はコンソーシアム構成企業内で所有し、構成企業の技術員が出向き施工する体制のため、コンソーシアム構成企業にご相談いただき、ご発注ください。
- ・ 老朽下水管での適用性はあるか？
→ 水道管内での実績はほとんど無いが、トンネル覆工コンクリートでの調査実績があり、適用性はあると考えます。
- ・ 変位や油圧はどこで計測しているのか？
→ 変位はゾンデ内、油圧(荷重)はポンプ外付けのセンサーで図っています。
- ・ これは非破壊検査機器なのか？
→ 調査にあたってはコア削孔が必要となるため、正確には微破壊調査の位置付けです。
- ・ 最小削孔径は？ソフトコア径にも対応しているのか？小孔径コア孔で使ってみたい。
→ ゾンデ本体の直径が 40mm であるため、それ以下のコア削孔には対応できていません。
- ・ どんな現場で実績があるのか？
→ トンネル・橋梁・樋門樋管・ダム・砂防堰堤・ビル壁面・遺跡(明治・大正期の鉄筋鉄骨コンクリート・レンガ構造物)などです。
- ・ 公官庁発注業務での実績は？
→ 都道府県・市町村クラスでは、本技術を提案し特記仕様書に記載いただくことで当試験を発注いただいている。国交省クラスでは、本技術が普及しておらず規格化されていないため、特殊現場(遺跡等)を除き実績はありません。
- ・ コンソーシアム加盟企業は？
→ 今回の出展対応は、事務局の川崎地質(株)で実施しているが、主要な地質・建設コンサルタント会社に加盟いただいています。

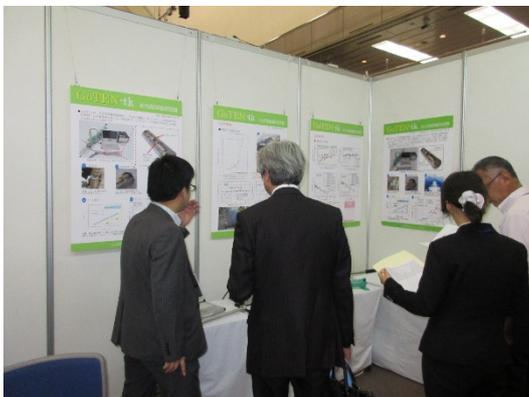
・試験の精度は？

→これまで無数に圧縮試験との相関を解析しているが、係数「×4」で非常に良い相関が得られています。規格化に向け係数は今後詳細(条件毎)に詰めていきます。

➤ 主な意見

- ・任意の深度と方向で細かく計測できるのは素晴らしい。
- ・こういった技術や試験機があることを知らなかった。
- ・こういった技術は今後インフラメンテの拡大で必要になってくるであろう。
- ・もう少し宣伝を上手くした方が良い。
- ・岩石での適用性に期待している。
- ・電気駆動部分が電池で大丈夫ということで、他種多様な現場で適用できると思う。

➤ 出展の様子



➤ 気づいたこと等

- ・会員企業のパネル（ポスター）作成した方が良いと思う。今回は PC を持参し HP の会員企業を表示していたが、もっと目立つようにした方が良いと思う。
- ・もう少し目立つパネル（ポスター）で、「GoTEN とは・・・」を作ると良いと思った。何ですか？と興味を持って聞いてくれる方もいるが、名前を見て首をかしげて通り過ぎる方も多かった。
- ・パネルを照らすスポットライトを付けた方が良かった。見えないわけではないが、ブース全体が暗い感じに見えた。